

「立佞武多広場」の防災設備

「立佞武多広場」には、主な設備として、耐震性貯水槽（飲料水・消火栓として容量100m³）、防災トイレ、大八車やかまどとなる防災ベンチ、ソーラー照明灯、給水装置や投光器等備品のほか、関係する物品を収納する保管庫を配置しています。

保管庫内備品

- 給水装置1式……2組
- 発電機………1基
- ガソリン携行缶…3個
- エンジンポンプ…2基
- アルミリヤカー…2台
- その他…工具類等



防災用品入りバケツ 12個



手動リフト 1台

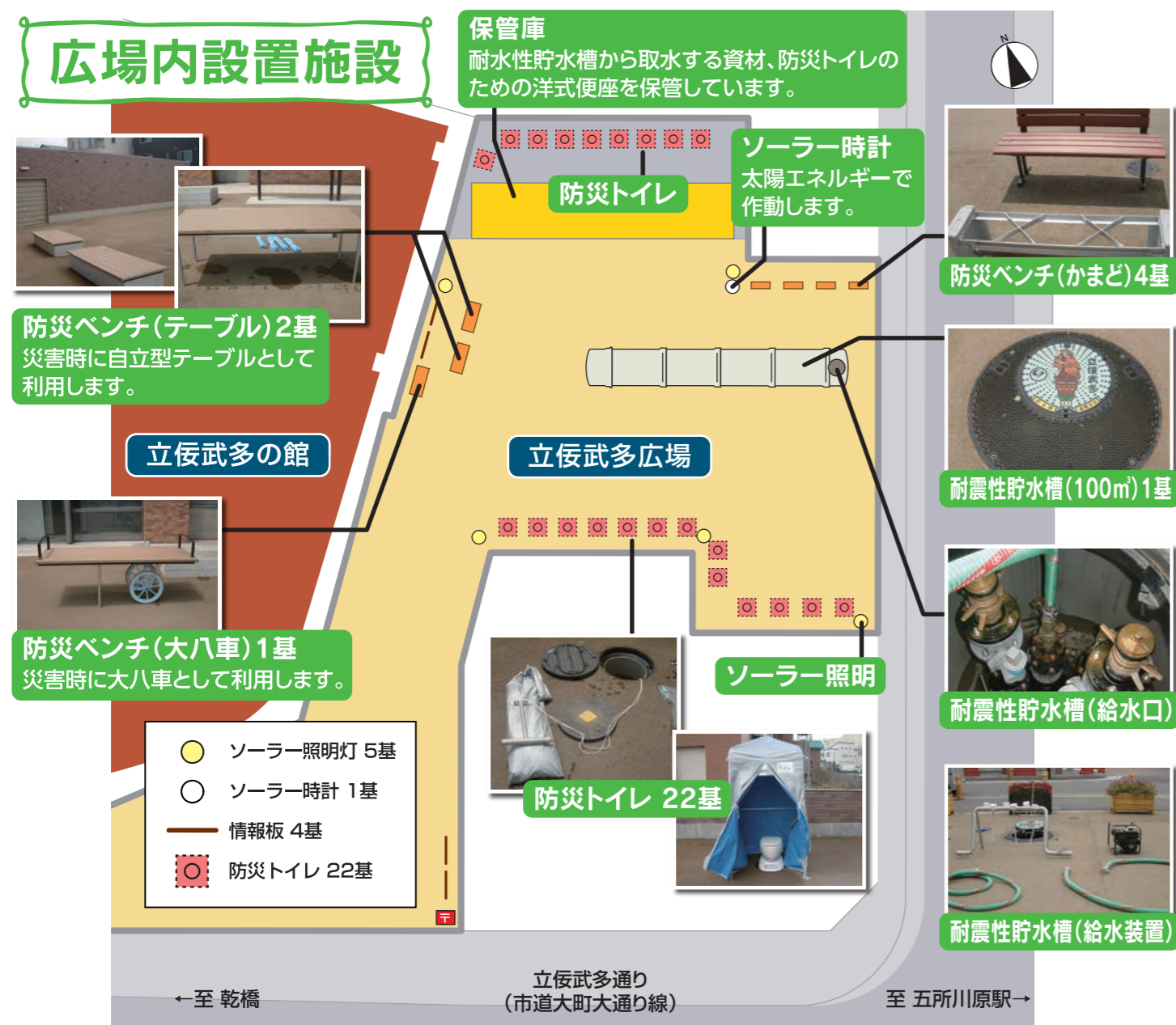


洋式便座 22個(防災トイレ用)



投光器 1基(発電機付)

広場内設置施設



耐震性貯水槽

耐震性貯水槽とは、耐震性を持つ構造・素材でつくられた水道管の途中に設置された災害時の飲み水を貯めるための貯水槽のことであり、消防上の消火活動にも利用できます。

【注】災害発生時、耐震性貯水槽は市水道課職員が操作しますので、ほかの方は触れないください。



貯水槽のマンホール開け、水を汲み上げ給水口に接続

防災ベンチ(かまど)

普段は公園でベンチとして使用し、災害時にはかまどに変身し、炊き出しができます。ベンチの中には、炭置・五徳などが収納されています。



ベンチの中からかまどを組み立て、食事を準備

防災ベンチ(テーブル・大八車)

公園のベンチの座面の部分を取り外し、自立型テーブルや応急ベッド、大八車として機能し、負傷者や物資等の運搬に活用できます。



ベンチに収納されるテーブルや大八車を取り出す

防災トイレ(便槽・汲取式)

鉄蓋の下に便槽を設置しています。災害時には、必要に応じて便槽の上に洋便座とテントを設置し利用します。



鉄蓋の上に簡易トイレとテントを組み立てる